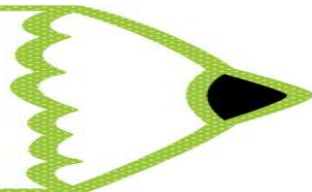


松梅校道徳通信

11月22日

文責：亀川



11月は「郷土愛」について考えてみました

11月20日(水)の特別の教科「道徳」の研究授業。今回のテーマは「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」。今回は、小学4年生・6年生、中学2年生・3年生が、それぞれの発達段階に応じた教材で取り組みました。ご家庭でも、ぜひ子どもさんと「郷土愛」について話し合ってみてください。

小学4年生「ふるさとを守った大イチョウ」

東京大空襲によって様々なところに火の手が上がった。そんな中で、地域の守り神である大イチョウが町を守ってくれた。焼け焦げた大イチョウ。その幹から新たな芽が出てくる。そして、時を経て大イチョウは復活するという、実際にあったお話。

それぞれの場面で、住民の気持ちを考え、プレゼンテーションソフトで表現しました。

「〇〇松梅」の〇〇を考える場面では、「季節がある」「きれい」「自然」などを意見が出ていました。



小学6年生「明日も笑顔で」

7年間、毎朝、松梅校の前の歩道橋の下に立って、子どもたちに挨拶をしてくれるHさん。挨拶運動の中で、また授業を参観する中Hさんが感じていること、今頑張っていることなどについて、インタビューをもとに作った自作教材。

Hさんがなぜこんなに長く挨拶運動を続けられるのかを考えた場面では、「子どもたちの笑顔をたくさん見たい」「皆が好きだから」と、ペアの人に伝える姿が見られました。



中学2年生「祭りの夜」

秋田の竿灯祭りを見ている中学生。そこに来ていた観光客から、祭りについて説明してほしいと頼まれる。話しているうちに、地域のことをもっと知りたいという思いを強くしていくという、中学生作文が題材。

中学生と旅行者になりきって、教科書の題材で役割演技をした後、松梅を紹介するという役割演技に挑戦しました。実際にやることで、紹介することの難しさを感じながらもその楽しさを感じたと発言する生徒もいました



中学3年生「名尾和紙とともに」

松梅校の生徒なら誰もが知っている名尾和紙。Tさんが家業を継ぐときのいきさつを題材にした自作教材の前半部分。

Tさんの思いを想像する場面では、「せっかく続けてきたのにこのままなくなってしまうのはもったいない」「このままでは過去のものになってしまう。」「記憶からなくなる」「人生に色が欲しい」などの意見が出ました。また、伝統をつなぐために必要なこととして、「強い意志」「覚悟」「関心」などを挙げていました。



昨日道徳に関する調査のお願いの文書を、最長兄姉の保護者様に配付しています。11月29日(金)までにご回答いただき、回答実施確認票をご提出いただきますようお願い致します。

次回は12月18日(水)。小4・中1・2・3で、「家族愛、家庭生活の充実」をテーマに授業を行います。